

2026(令和8)年10月16日

報道関係者 各位

松 山 大 学
(全2枚送信)**社会問題化している「匿名流動型犯罪グループ(トクリュウ)」について解説
松山大学プロジェクト研究助成学術研究会・講演会開催**

10月23日(金)16時から研究会、18時から講演会を同日開催

松山大学は、10月23日(金)本学にて、地域の皆さまの新たな学びの場として、松山大学プロジェクト研究助成学術研究会・講演会を実施します。今回は、実務的研究機関と学術研究機関での研究を踏まえて実務と理論の視点から研究対象に接近しておられます。岡邊健(おかべ たけし)京都大学大学院教育学研究科教授をお招きし、研究会と講演会を同日開催いたします。

研究会では犯罪統計を踏まえた犯罪現象の捉え方についてご解説いただき、講演会では、現在社会問題化している「匿名・流動型犯罪グループ(トクリュウ)」とその背景についてご解説いただきます。当日は学生・教職員のほか、地域の方々にもご聴講いただく予定です。ぜひ、ご取材ください。

岡邊 健(おかべ たけし)氏 プロフィール

1975年生まれ。東京大学教育学部卒。東京大学大学院教育学研究科中退。博士(社会学)。警察庁科学警察研究所研究員、山口大学准教授などを経て、2017年より京都大学大学院教育学研究科准教授。2021年より現職。専門は犯罪社会学・教育社会学で、少年非行に関する社会学的研究に、長年携わってきた。近年は、犯罪からの立ち直り、非行少年が幼少期に経験した逆境の体験などを、主たる研究テーマとしている。著書に『犯罪・非行からの離脱(デジスタンス)』(編著、ミネルヴァ書房)、『犯罪・非行の社会学[補訂版]』(編著、有斐閣)、『現代日本の少年非行』(現代人文社)など。日本犯罪社会学会常任理事。日本社会病理学会理事。日本自立準備ホーム協議会理事。

**【松山大学プロジェクト研究助成 学術研究会】**

日 時 : 2026年10月23日(金)16時00分~17時30分
会 場 : 松山大学東本館7階会議室2(松山市文京町4-2)
題 目 : 犯罪統計の読み方—犯罪社会学者からみる犯罪現象
論 者 : 岡邊健・京都大学大学院教育学研究科教授
参 加 者 : 学生・市民・教職員

【松山大学プロジェクト研究助成 学術講演会】

日 時 : 2026年10月23日(金)18時00分~19時30分
会 場 : 松山大学8号館820教室(松山市文京町4-2)
題 目 : 「トクリュウ」という現象とその背景
論 者 : 岡邊健・京都大学大学院教育学研究科教授
参 加 者 : 学生・市民・教職員

<会場>

※お車で越しの場合は事前にお申し出ください。

